

「仙台版防災教育副読本を活用した指導事例」

校名 [ 岩切小学校 ]	氏名 [ 矢野 愛美 ]
[ 小 ] 学校 [ 4・5・6 ]	年版 単元名 [ 東日本大震災発生 ] P 4～5
教科・領域名 [ 学級活動 ] 時間 [ 45 ] 分	

主な学習活動 (実際に行った活動)	指導の実際
-------------------	-------

【ねらい】

東日本大震災時の仙台市を中心とした被害の様子や市民の様子を知ること、防災や減災の学習の大切さに気付かせる。

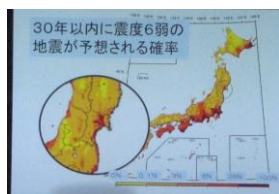
1 3月11日に発生した東日本大震災について思い出す。

- ・テーブルの下に潜った ・停電になった
- ・夜は車で寝た ・水を無料でもらった
- ・東京にいた。お父さんが帰れなかった。

2 2012年から30年の間に震度6弱以上の地震が予想される確率の分布図からどのようなことが分かったか考える。

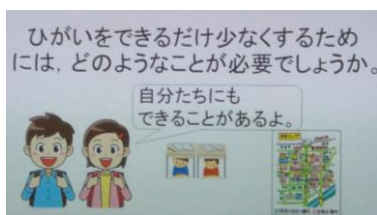
この地図からどのようなことがわかりますか。

- ・色が濃いのは西日本、太平洋側、北海道、宮城県も



3 被害を少なくするために自分たちにできることを考える。

被害をできるだけ少なくするために、自分たちができることは、どんなことでしょうか。また、家族と協力してできることはどんなことでしょうか。



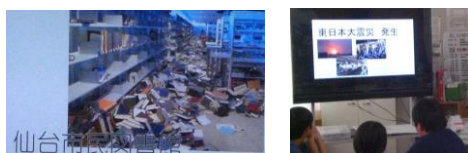
4 各自の考えを発表し合い、グループごとにまとめる。

【ねらいにせまるための手だて】

- ・副読本やパワーポイントの写真を活用し、被害の様子を思い出させる。
- ・今後も大きな自信が起きる可能性を示唆し、防災の学習が大切であることに気付かせる。

【準備物】

防災副読本、ワークシート、PC、テレビ

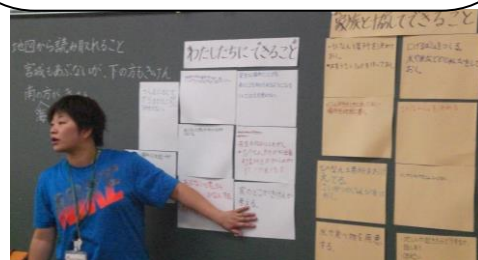


【わたしたちにできること】

- ・安全な場所に移動する。
- ・防災マップを作る。
- ・先生の指示に従う。
- ・家のどこが危険か考える。
- ・弟のことも助けられるようにする。
- ・避難訓練に真剣に参加する。

【家族と協力してできること】

- ・地震が起きたらどうするかを話し合う。
- ・家具を固定する。
- ・水や食べ物を準備しておく。
- ・避難場所を確認しておく。
- ・危ないところを地図に確認しておく。



「仙台版防災教育副読本を活用した指導事例」